

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	75	事業名	避難行動要支援者支援事業 (中事業名) 避難行動要支援者支援事業		担当課		福祉政策課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-1-8 避難行動要支援者支援事業		
					決算書ページ		93	～ 97	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
		政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり					
		施策	(1)	くらしを支える生活基盤の充実					
	その他	開始年度	平成24年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	災害対策基本法、長久手市避難行動要支援者支援要綱						
		関連計画	長久手市地域防災計画、長久手市障害者基本計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		④最終成果 (大事業の将来像)							
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 約400人 【事業内容】 災害時に自力での避難が困難な 障がい者等を対象に、避難行動 要支援者登録及び個別避難計画 の作成を進め、災害に備えた日 頃の見守り等に活用する。		【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 個別避難計画（障がい者）作成 率【単年】 (2025年度から) 個別避難計画作成率【単年】 【その他の指標】 地域又は支援者への避難行動要 支援者事業の説明等の回数		障がい者等が災害時の避難行動 について自身や身近な人と一緒 に考え、必要に応じて登録を行 う。 (成果指標名) 避難行動要支援者の内、登録申 請書を提出した者の割合		大 事 業 共 通 災害時に障がい者等が取り残さ れないよう、地域で支え合える 体制ができる。		

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 （2024年度まで） 個別避難計画（障がい者）作成率【単年】	%	基準値	43.9	目標値	45.0	-	-	-	-	
					目標値	50.0	実績	41.6					
		2	【アクションプラン指標】 （2025年度から） 個別避難計画作成率【単年】	%	基準値	42.2	目標値	45	45	47	47	50	
					目標値	50	実績	38.0					
		3	【その他指標】 地域又は支援者への避難行動要支援者事業の説明等の回数	回	基準値	-	目標値	6	6	6	6	6	
					目標値	-	実績	5					
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	災害対策基本法に基づき、平成24年度から避難行動要支援者名簿を、令和5年度から個別避難計画を作成している。 災害時に、自身や家族だけでの避難が難しい高齢者、障がい者等を支援できるよう、名簿等を地域の避難支援関係者と共有し、日頃から見守りや避難訓練を行い、いざというときに地域で支え合える体制づくりを目指す。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	地域が実施するみまもり台帳の書き方の説明会等に参加し事業のPRを行ったが、個別避難計画の登録者で支援者がいない者に支援者を見つける事ができなかった。 ＜令和6年度登録分実績（令和6年2月調査分）＞ 対象者 427名、返送数 298名、登録者 172名、登録を希望しない方 126名				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		避難行動要支援者の内、登録申請書を提出した者の割合		%	年度		5 年度		【現状】 6 年度		8 年度		10 年度		
					-		60.8		69.8		80		90		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					本来、100%の方に提出してもらいたいものと考えているが、登録申請者の中には支援者も必要としておらず、自分の力で生活を行うことに不便を感じない者で書類を提出したくないという者もいることから、90%を目標値とした。							
	評価の理由、分析														
	支援者、要支援者のいずれも本制度を知ることによって申請者数は増えると考えているが、対象者の3割は未回答であるため、前年度より提出率は上がっているが、さらに提出率を上げたいと考えている。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		災害への備えとして、継続的に周知していくことのほか、行政内部及び地域での名簿等の活用について検討を進める。										
		改善ポイント													
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	地域でのみまもり台帳の書き方事業について	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	令和6年度は地域が実施したみまもり台帳の書き方に関する集まりに市も2小学校区で参加したが、令和7年度はこの取組をCSWと連携して拡充する。												
2	支援者との協力	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	要支援者に近い支援者の協力を受けられることで、申請書の提出率や内容の充実も図れることから、支援者へ事業の必要性についてアピールし申請の充実を図る。												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			4, 864	4, 761	840	710	1, 916			
		理由			特定財源	合計額	4, 466	4, 466	0	0	0		
		災害対策を継続していく必要があるため。				(内 国費)	4, 466	4, 466					
						(内 県費)							
						(内 諸収入)							
						(内 その他)							
					一般財源		398	295	840	710	1, 916		
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
		未定			消耗品費 20千円（20千円）								
					印刷製本費 303千円（302千円）								
					要支援者システム保守管理委託 1, 593千円（1, 594千円）								